

重点 笑顔でつながる福住の子 ～みんなの中で自分らしくある学校～

学校教育目標と理念

人間味豊かで実践力に富んだ子どもの育成

- 強じんな心身の育成 ～他者とつながり、励まし合う～
- 創造的な知性の開発 ～他者とつながり、学び合う～
- 豊かな情操の育成 ～他者とつながり、関わり合う～

子どものめあて(宣言)

「わたしたちは今をたいせつに よりたくましく よりかしこく よりうつくしく あすにむかって生きていきます」

児童のキーワード 大切にしよう やってみよう

小中一貫した教育でつながる

- 学び** 自ら進んで考え、粘り強く学び続ける
- こころ** 思いやりにあふれ、お互いに認め合える
- からだ** 心身共にたくましく、生き生きと活動する

福住のからだづくり

体

他者とつながり、励まし合う

体育の授業の充実と運動に親しむ場の設定で、
運動を楽しみ自己肯定感を育む

- 「健やかな体」育成プログラムの取組の実践
- 体育の授業の充実…運動の楽しさや特性に触れるとともに自己肯定感を育む
- 運動に親しむ場の設定と創出（三間：仲間・時間・空間や週間設定）
- 「食」への関心を高める指導と考える力を育む食育の推進
- 生きる力につながる健康・安全教育

福住のまなびづくり

知

他者とつながり、学び合う

子どもたちが自ら課題の発見と解決に、主体的・協働的に学ぶ

- 「学ぶ力」育成プログラムの取組の実践
- 「主体的・対話的で深い学び」の観点での授業改善
- 課題探究的な学習の展開、本物の経験となり得る場づくり
- AARサイクル(見通し・行動・振り返り)の単元計画への設定
- 体験的な活動…社会・環境・人となつたり、実感を伴い手応えを得る
- ICTの効果的な活用

福住のこころづくり

徳

他者とつながり、関わり合う

子どもたちが自ら目的や目標をもって、主体的・協働的に活動する

- 他者との関わりを大切にしながら自分らしさを発揮する
自治的な活動の展開
- なかよし活動の実践や異年齢交流で、つながりとあこがれを育む
- さっぽろっ子宣言「プラスのまほう」、「ピア・サポート」に関連した取組
- 自己肯定感・自己有用感を育む道徳教育の推進
- 特別支援教育の推進と校内交流
- いじめの未然防止の指導と、子どもが主体となれるいじめ防止の取組

子ども一人一人が「自分が大切にされている」と実感できる学校づくり

地域と共にある信頼される学校づくり

- 異校種とのつながり
- 地域人材・地域環境資源の活用
- 教育情報の発信
- 安全・安心な学校環境
- いじめ等への組織的対応
- 家庭との連携
- コミュニティ・スクールの取組
- 職員研修・業務等の計画的な時間確保



Since1978

福住のからだづくり

～他者とつながり、励まし合う～

◎「健やかな体」育成プログラムの取組の実践と評価（自立への基盤）

- 体育の授業の充実（運動の楽しさ、特性に触れるとともに、自己肯定感を育む。ICTの効果的な活用。）
- 運動に親しむ場の設定と創出（三間(仲間・時間・空間)の創出。休み時間の外遊び励行。
運動週間(マット・跳び箱・鉄棒)。なわとびの取組、他)
- 食育の推進 食育の指導（栄養教諭との連携)(家庭との連携)
- 健康・安全教育（各教科、道徳、特別活動、各訓練等。意識と関心を高める）
- 性に関する指導（養護教諭との授業協力連携）
- 基本的な生活習慣の指導と家庭との連携

福住のまなびづくり

～他者とつながり、学び合う～

◎「学ぶ力」育成プログラムの取組の実践と評価

- 「主体的・対話的で深い学び」の観点での授業改善
- 課題探究的な学習の展開…子どもたちが自ら(当事者として)、課題の発見と解決に主体的・協働的に学ぶ。
「本物の経験」となり得る場づくり。創造的に取り組む探究や解決の展開。
- 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実
- AARサイクル(見通し・行動・振り返り)の単元計画への設定
- 体験的な活動の充実
(社会・環境・人とつながり、実感を伴い手応えを得る体験。効果的に人的・環境資源を生かした学習。)
- ICTの効果的な活用（自己調整や深い学びに関連する質的な効果。活用についての研修）
- 総合的な学習の時間の実践と検証
- 学びのユニバーサルデザインの推進（使用物や環境の構成も該当）
- キャリア・パスポートの活用（自らの成長を認識し、可能性を広げる）
- 学習規律の6年間のつながり
- 家庭での学習方法の支援

福住のこころづくり

～他者とつながり、関わり合う～

◎「学ぶ力」育成プログラムの自治的な活動は「こころづくり」としても捉える

- 自治的な活動の展開…子どもたちが自ら(当事者として)目的や目標をもった主体的・協働的な活動。
「本物の経験」となる得る場づくり。
- なかよし活動の実践 つながりとあこがれを育む・自己肯定感や自己有用感の育み
- ピア・サポートに関連した取組
(「ありがとうの木」の取組「学年学級の組織・集団づくり」「自己肯定感や自己有用感の育み」
「誰もが他者をサポートでき、サポートを受ける存在」「あいさつ運動」)
- さっぽろっ子宣言「プラス(PLUS)のまほう」に関連した取組
- 「いじめは『しない・させない・許さない』」に関する指導と児童の取組（自治的な活動）
- 自己肯定感・自己有用感を育む道徳教育の推進
(当事者意識の育み。他者と対話しながらよりよい方向を目指す)
- 命を大切にする指導の充実
- 3つの「あ」と時間について意識化（明るい挨拶、歩き方、後片付け、時間を意識して行動する）
- 特別支援教育の推進（交流及び共同学習。発達障がい等の特性などを踏まえた学年学級経営・授業づくり
及び研修。担任交換授業。)
- 挨拶・温かい言葉・関わり方の充実（相互承認の感度を磨く取組。期待する行動とその承認の場）
- 規範意識の醸成（発達段階に応じながら6年間においてそろえる）

